

ミドルエイジ世代の居酒屋起業！
静岡県・清水の珍味と日本酒、
クラフトビールが楽しめる居酒屋

「しみず酒美家(しみずさけびや)」が立川に9月9日オープン

【メディア個別試食会開催：11月末まで】

JR立川駅南口、錦中央通り商店街に「大衆酒場感覚で気軽に日本酒とクラフトビールが楽しめる店」がコンセプトの居酒屋「しみず酒美家(しみずさけびや)」が9月9日にオープンしました。運営は、遠藤酒場(東京都立川市、代表取締役：遠藤英樹氏)。店名の由来は遠藤氏の故郷である静岡県・清水で食べられる酒肴とお酒、ビールを扱うことから「しみず＝清水」「さけ＝日本酒」「びや＝ビール」から「しみず酒美家(しみずさけびや)」と命名。地元で日常の食卓にならぶ「まぐろの目玉」や「かつおの心臓」など都内では珍しい酒肴と選りすぐりの日本酒とクラフトビールが楽しめるお店です。
この度オープンを記念してメディア様に向けて個別試食会を開催いたします。《11月末まで》



静岡の酒肴と全国の厳選銘酒・地ビール

メニューは、B級グルメで名を馳せた真っ黒い出汁がしみこんだ「しそーかおでん5種盛り」(600円)をはじめ、清水港で水揚げされる「まぐろの目玉の煮付け」(550円)や焼津港から水揚げされる「かつおの心臓」をつかった「かつおへその味噌煮」(500円)。なかには、聞き慣れない「いるかのたれ焼き」(500円)や「いるかの煮付け」(500円)などの「いるか料理」もあり、地元では日常の家庭にならぶという。

お酒は、清水の銘酒「臥龍梅」を約15種と遠藤氏自身が好きな「王祿」約10種をメインに「日本酒嫌い」の人にこそ是非飲んでもらいたいという思いを込めて40～50種ほどセレクトし、「90ml 350円(お猪口)」「120ml 450円(グラス)」「150ml 450円(徳利)」より提供する。さらに、元祖地ビールの「サクトガーレン」を中心に「ペアレンビール」「ひでじビール」「箕面ビール」など、国内のクラフトビールをボトルで15種ほど取り揃える。ほかにも「ギネス」「キリン」「サッポロ」のラガーなどもボトルで用意する。

しみず酒美家(しみずさけびや)

東京都立川市錦町2-2-29 YS立川ビル1F

アクセス：JR立川駅から徒歩5分

電話：042-595-6108

営業時間：月～木 17:00～23:00(LO22:30)

金・土 17:00～24:00(LO23:00)

定休日：日曜日 最終月曜日

坪数席数：16坪 33席

客単価：3500円

運営会社：株式会社 遠藤酒場



【本件に関するお問い合わせ、取材・試食会お申し込みは、FS Press(フードスタジアム株式会社内) 大山までお願い致します。】